

日本看護技術学会 第22回学術集会 交流セッション

日本看護技術学会 第6回若手の会 活動報告

開催日時：2024年 10月 26日 15:45～16:45

開催場所：日本看護技術学会 第22回学術集会 交流セッション6

札幌市教育文化会館（大会長：矢野 理香〈北海道大学〉）

第22回の学術集会において、若手研究者の支援を目的に交流セッション「第6回若手の会（研究活動推進委員会企画）」を開催しました。今年は昨年に引き続き若手研究者の悩みを語り合うカフェテリアと題して、「**あなたの悩みはみんなの悩み、統計を学べるカフェテリアによろこそ**」を開催し、お茶と軽食を楽しみながら語り合いました。今回の会では臨床看護師、大学院生、若手教員だけでなく大学生にもご参加いただけ、日本看護技術学会若手の会ならではの顔ぶれとなりました。

当日は、大学や大学院で学習してきた“統計学”とは少し異なる趣向として、“**統計学の勉強の仕方**”や“**研究を実際に行っていく際の疑問やテクニック**”など、様々なテーマで活発な情報交換がされていました。終了後はお互いに名刺交換を積極的に行ってもらい、今後切磋琢磨していく仲間が増えたと思います。

研究活動推進委員会は今後もこのような機会を積極的に作り、『若手の会』が若手の研究者・臨床家・教育者の皆様への情報提供や情報交換の場になるよう取り組んでまいります。今後ともご参加・ご協力よろしくお願いいたします。最後に、交流セッションの場を提供してくださった第22回学術集会企画委員の方々に感謝申し上げます。

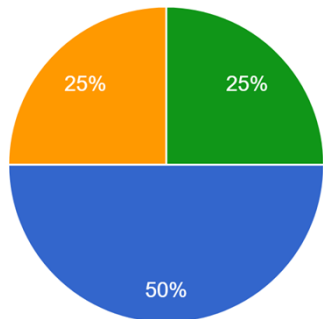
研究活動推進委員会 若手の会 担当

【当日の交流セッションの様子】



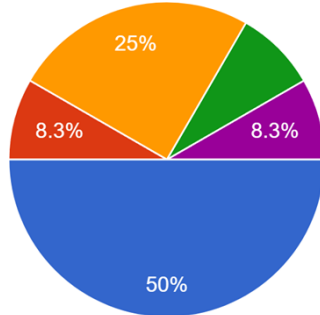
日本看護技術学会 第6回若手の会 参加者アンケート集計結果

Q1 今回の交流セッションを
何で知りましたか



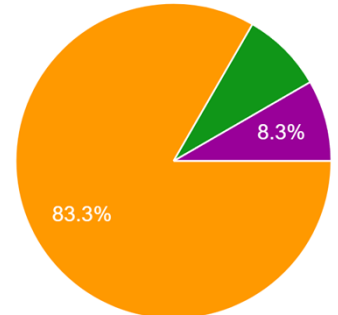
- 日本看護技術学会のHP
- 日本看護技術学会からのメール
- 指導教員からの勧め
- 学会員からのお誘い

Q2 今回の交流セッションに参加した
きっかけを教えてください



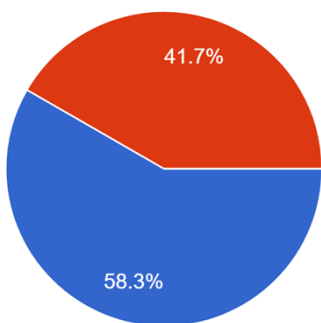
- テーマに興味があったから
- 若手の知り合いを増やしたいから
- 知り合いが参加していたから
- 先生の勧め
- 会場の担当だったから

Q3 今回の交流セッションの
時間はいかがでしたか



- かなり長かった
- 少し長かった
- ちょうどいい長さだった
- 少し短かった
- かなり短かった

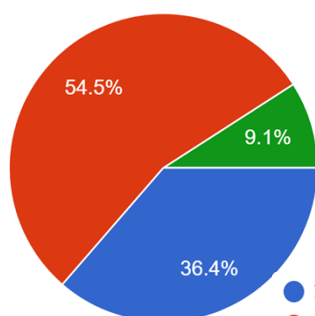
Q4 今回の交流セッションの内容はいかがでしたか<理由・ご感想・ご意見>



- とても満足している
- 満足している
- あまり満足していない
- 全く満足していない

- ・ 普段の授業内では知ることのない、現場の方の悩みを知ることができた一方で、知らない統計ソフトの話などもあり、難しい内容であったため。
- ・ 他の研究者の取り組みが知れたため。
- ・ 長島先生のお話が大変わかりやすく、勉強になりました。またグループディスカッションでの先生方のスムーズな進行も大変ありがたかったです。
- ・ グループワークで深く意見交換ができたため。
- ・ 楽しく参加ができたため。
- ・ 悩みの共有というのは、浄化にもなるし、激励にもなったため。
- ・ 統計に精通されていたり、自分よりレベルの高い方が多かったのですが、先輩たちの話を聞いて、統計にポジティブな思いを持つことができたため。
- ・ 統計の手法やポイント、注意点やテクニックなどの講演を予想してたので、グループワークにはびっくりしました。
- ・ みなさんが、困っていることを直接伺う機会となったこと。
- ・ 様々な意見をお聞きでき、大変楽しかったです。
- ・ 自分が悩んでいたところを、別な視点から見て答えてもらったりできるから。

Q5 また次回も参加したいと思いましたか<理由・ご感想・ご意見>



- また参加したいと思う
- できれば参加したいと思う
- もう参加しないと思う

- ・ もう少し勉強をしてから参加したいと思ったため。
- ・ 自由に意見を述べやすい雰囲気だったため。
- ・ 継続は力になるため
- ・ 楽しく参加できたため
- ・ 企業の立場での参加は、交流セッションの邪魔になってしまうかと思いました